海外知的財産プロデューサー事業　アンケート調査の結果報告

平成 26 年 11 月
独立行政法人　工業所有権情報・研修館

平成 25 年度に実施しました海外知的財産プロデューサー事業に関するアンケート調査につきまして、多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。本アンケートの結果を以下のとおり報告いたします。

1　アンケート調査の概要

（1）調査の目的

海外知的財産プロデューサー事業に対する支援ニーズの把握および本事業の利用者の満足度の調査

（2）アンケート実施部署、調査対象、実施期間等

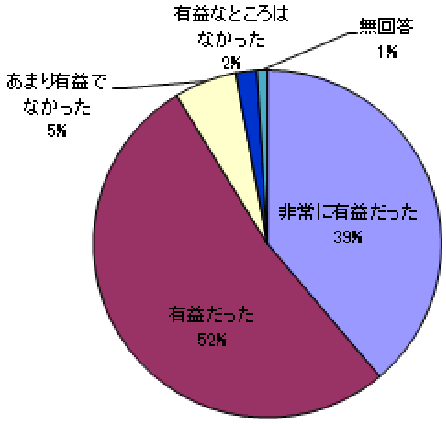
実施部署：（独）工業所有権情報・研修館　活用促進部　海外計画担当
実施方法：アンケート用紙郵送
調査対象：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月末までに本事業を利用した企業等
実施期間：平成 26 年 2 月～5 月
回収率：調査対象 199 社のうち 107 社から回収（回収率 53.8%）

2　アンケート結果について

主要事項の集計結果は以下のとおりです。

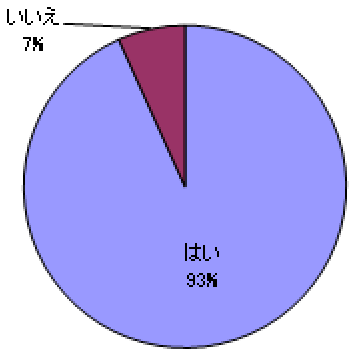
（1）海外知的財産プロデューサーによる支援は、御社にとって有益でしたか？

項目	回答数	割合
非常に有益だった	40	39%
有益だった	54	52%
あまり有益でなかった	6	5%
有益なところはなかった	2	2%
無回答	1	1%



（2）今後も海外知的財産プロデューサーによる支援（継続的・断続的）をご希望されますか？

項目	回答数	割合
はい	97	93%
いいえ	7	7%



（3） （1）で「非常に有益」「有益」とご回答された方（94 社）において、具体的に御社のビジネス上、どういった点で有益でしたか？（複数回答可）

項目	回答数
海外進出にあたっての知的財産面での基本的な考え方が整理できた	76
ビジネスに則した特許・実用新案・商標・意匠の出願戦略を考えることができた	43
海外企業等との契約における自社ビジネスに有益な観点・考え方を知ることができた	42
製品・技術・ノウハウ・サービスなどの知的財産の仕分け・選別・管理体制について、自社に則した考え方を知ることができた	22
知的財産面からみて、自社ビジネスに則した海外進出形態（輸出・製造拠点・ライセンス・共同開発等）を見つめなおすことができた	32
海外進出にあたり知的財産の必要性を認識することができ、社内体制整備を行うことができた	32
その他	3

3 個別のご意見と今後のご支援について

その他個別には、「今回のサポートで管理職の理解が進み、体制の見直し、整備の為の社内支援を受けやすくなった」「知財とビジネスの関係をうまくお話し頂き、大変参考になった」等のご意見をいただきました。一方、「もう少しフォローアップしてほしい」、「ライセンス契約において、初期の段階から国際弁護士のアドバイスを受けたい」等のご意見をいただきましたので、今後とも支援内容の見直しを図り、皆様のご要望にお応えするように努めてまいります。